

中部小学校教育研究会一斉研修 生活科・総合的な学習研究部

研修テーマ **気づきや学びの質を高める指導の工夫**

～ひと・もの・ことを積極的に活用して～

- 1 日 時 平成 27 年 10 月 7 日 (水) 13 : 30 ~ 16 : 45
- 2 会 場 琴浦町立赤碕小学校
- 3 講 師 兵庫教育大学大学院教授 溝邊和成 先生
- 4 研修内容

講師の兵庫教育大学の溝邊和成教授には、6月の研究会に講師として招聘し、「生活科の教科書の見方」等の講義を受けている。

今回は、平成 29 年度に中小研の生活科と総合的な学習の時間の研究発表大会に向けて、赤碕小学校 1 年生の生活科「いきものとなかよし」の授業参観と研究協議を行った後溝邊先生から指導助言と講義をしていただいた。



授業について、生き物への子どもたちの気づきの質を高めるために、本時の目標への焦点化の仕方、子どもたちが見つけた内容についての表現の仕方、子どもたちがめざす姿に向けての到達度や課題の持たせ方などについて、可視化することのできる方法について指導助言を受けた。

講義では、『気づきの質を高める授業作りのポイント』というテーマで、子ども一人ひとりの思考を導き、子どもたちが主体的に学んでいくために、活動内容の設定や学習の進め方、表現の方法、概念化に有効な言葉の使い方などを「気づきをつくる・つむぐ・つなぐ・結ぶ」という視点から話をしていただいた。活動が子どもたちにとっていかに必然性のあるものになっているか、また体験と話し合いが学びの質を高めるものであるか、そして地

域や周りの人との関わりも学習を深め広げていくためには必要な要素であるということなど、授業づくりに必要なさまざまなポイントを学ぶことができた。

今回の研修会で学んだことを、それぞれの学校に持ち帰り、生活科や総合的な学習の時間での実践に生かしながら、今後もさらに研修を深めていきたい。

